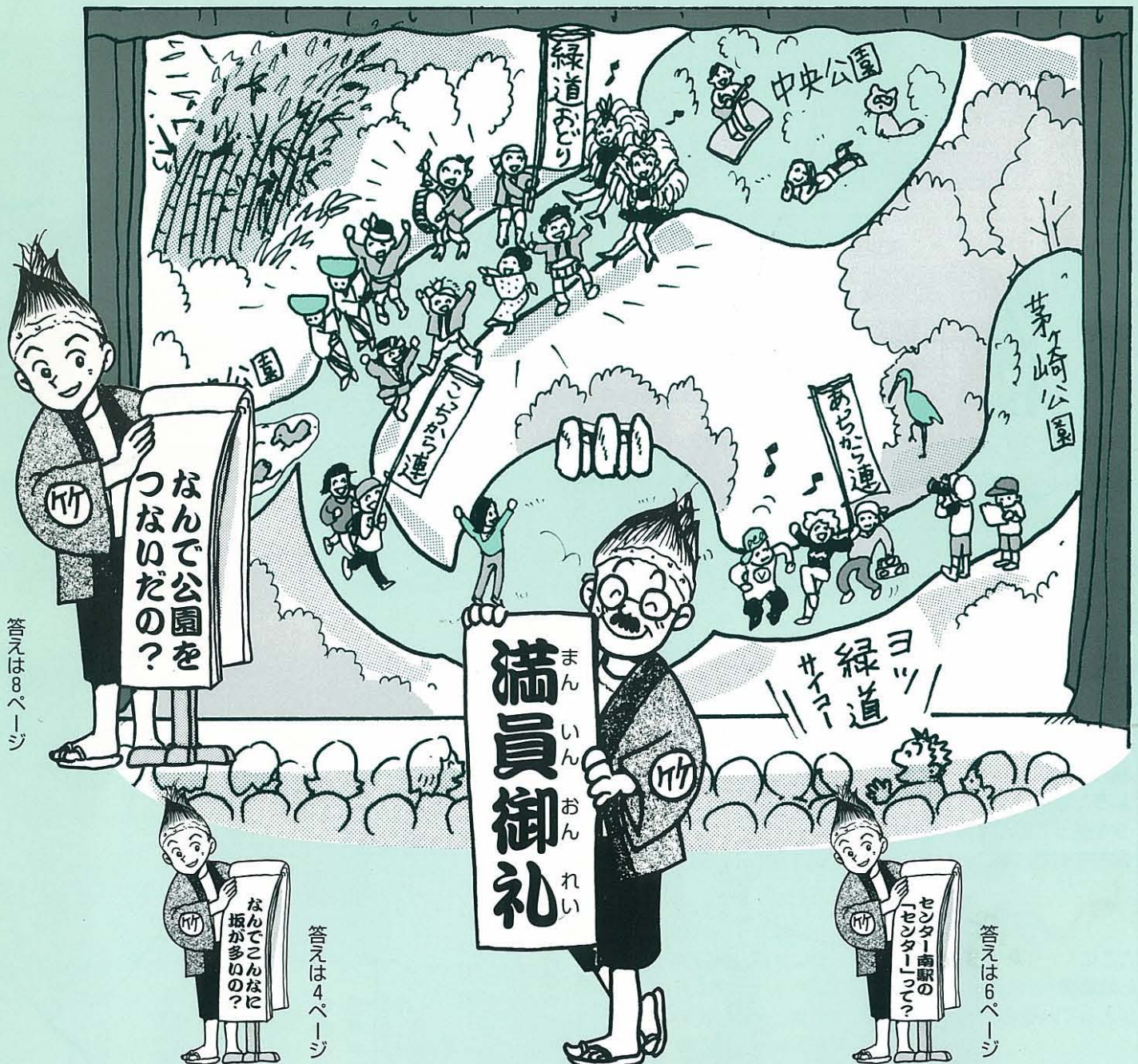


ギモン まちの？が解ける



案内役は
ビビット竹ゾー
竹シ親子（2人の
正体は裏面に）

都筑1コマ劇場



答えは8ページ

答えは4ページ

答えは6ページ

だしもの

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 2 古くからの歴史と文化は誇っていいとも！ | 10 つくる人食べる人がお隣同士 |
| 4 山間の農村が新しいまちに大変身 | 11 日本の最先端技術は都筑区生まれ！ |
| 6 お買い物もハマの文化もドーンとおまかせ | 12 コミュニティでまち生き生き |
| 7 そろそろ車なしの生活もね | 14 このまちのどんなところが好き？ |
| 8 人にも動物にもやさしい緑道 | |

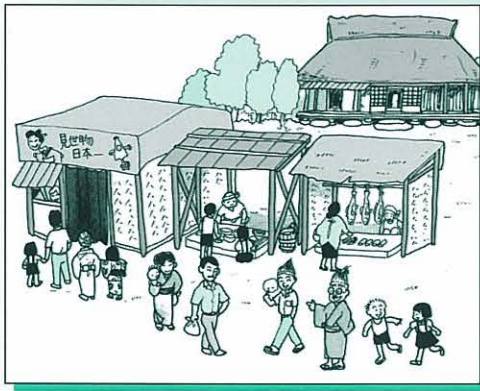
* この冊子は、平成14年5月に確定した「都筑区まちづくりプラン」（横浜市都市計画マスタープラン・都筑区プラン）に基づき作成されています。



古くからの歴史と文化は 誇っていいとも!

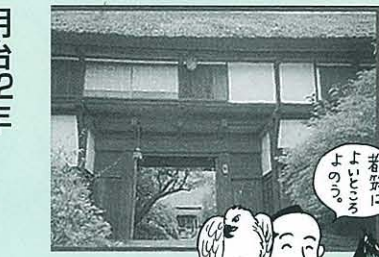
明治時代

現在も地名が残る川和の「宿」地区には市が立ち、遠くから人が集まってきた



農家の庭先に金物屋、鮭屋、まんじゅう屋などの店が並び見世物小屋も出た。市は昭和42年まで続いたんだよ。

江戸時代



勝田の関家住宅
(国の重要文化財・非公開)
では、鷹狩りの途中の徳川家光さんをもてなしたそう。

裏表紙のミニ富三兄弟のクイズに挑戦してみよう



大山参りや富士山参りが流行。本物の富士に行けない人はミニ富士を造ってお参りした

奈良時代

7世紀
「武蔵国都筑郡」となる



都筑は遺跡の宝庫。ニュータウン建設事業では268カ所もの遺跡が発見されたんじや。みなさんの足の下にも遺跡が眠っているかも。

「都筑区」の名はこの地名を受け継いだのさ

縄文・弥生時代

1万年以上前
都筑区域に人の住居(花見山遺跡、月出松遺跡)

6千年前は縄文海進で区役所の近くまで海だったんだよ



縄文海進で区役所の近くまで海だったんだよ

昭和時代

昭和30年代後半

高度経済成長長期。横浜市では乱開発により虫食い状態に住宅が建ち、人口急増
昭和40年
港北ニュータウン建設事業計画発表
昭和41年
田園都市線が溝の口から長津田まで開通

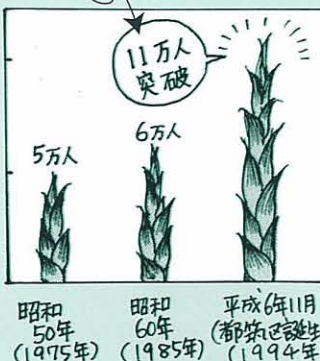
乱開発を防止し、計画的にまちづくりを進めるためじゃ



それまでは3～4時間かけて横浜線の中山や田園都市線の溝の口まで歩いてたんだって。

平成時代

昭和49年
港北ニュータウンの造成工事に着手
昭和58年
荏田南で港北ニュータウンの集合住宅第一次入居始まる
平成5年
市営地下鉄3号線が新横浜～あざみ野間開通
人口増加が加速
平成6年
都筑区誕生(11月6日)。その後区内の人口は毎年約7千人ずつ増加



今も昔ながらの行事が受け継がれているよ。

「どんどこ焼き」
1月の小正月に、正月の飾り物を燃やし、その火でモチや団子を焼いて食べる行事。区内各地で今も盛ん。



「虫送り」(南山田)
7月の土用の夕方、稲につく害虫を追い払うために、タイムツを持って田んぼの周囲を回る行事。



「地蔵回り」(池辺)
木の箱に収めたお地蔵様が10日ごとに各家を回る。子どもの成長と家族の安全を願う風習。

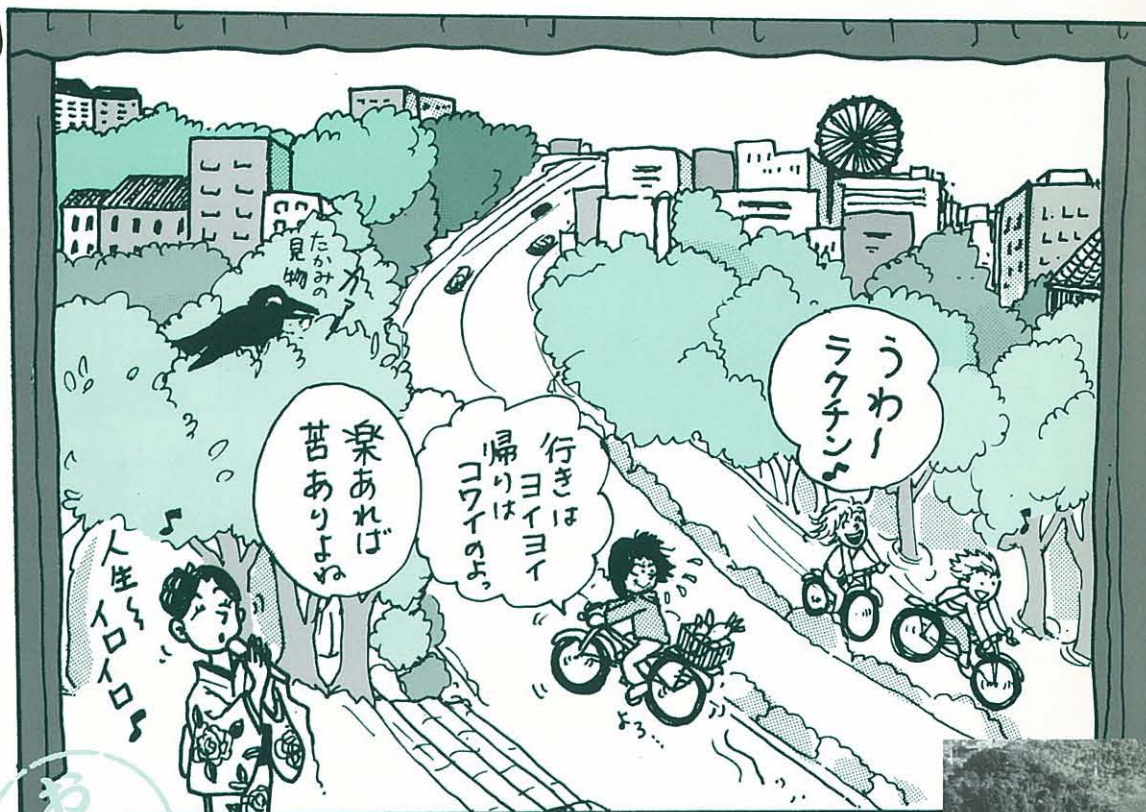
もっと知るには

- ふるさと横浜の歴史がわかる横浜市歴史博物館 ☎912-7777
- 江戸時代の民家を復元した都筑民家園 ☎594-1723
- 遺跡から発掘された土器などが収蔵されている埋蔵文化財センター ☎593-2406
- 港北ニュータウンが誕生する前の農具や生活用具が展示されている東山田郷土資料館 ☎591-6493 (水曜のみ開館)
- 川和の昔がわかるふれあい郷土館(川和小コミュニティスクール内) ☎931-2272
- 住んでる町の歴史もわかるお宝資料がいっぱい都筑図書館の郷土史コーナー ☎948-2424

山間の農村が 新しいまちに大変身

都市の便利さも緑の豊かさも味わえる港北ニュータウンは、
今や住んでみたいまちの上位に挙げられるほど。
でも昭和30年代、この地域の9割以上は山や畑でした。

山を切り崩して
造ったまちなのにね



もともとは丘陵と谷戸が入り組んだ起伏に富んだ地域。ところが昭和40年代の高度成長期に入って急速に住宅が建ち始めました。このままでは乱開発が進むと考えた横浜市は、市の6大事業の一つに港北ニュータウン建設事業を挙げ、都市と農村が共存した新しいまちづくりに取り組

みました。めざすは、豊かな自然環境を最大限保存し開発前の景観がしのべるまち。地形をできるだけ生かして造られたので、坂が多いのはそのためでもあります。もちろん開発前よりなだらかな地形に造成されているので、昔よりはずっとラクに移動できるはずですけどね。

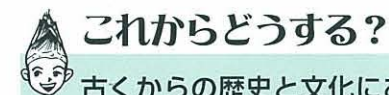
行きはヨイヨイ、帰りはコワイの道

それは見た目は平らだが実はえんえんとゆるやかな坂になっている道。ニュータウンにはこのような坂道が多い。ちなみに、のちめ不動前から城山までは700mの間に10m坂を登る。これももとの地形を最大限に生かして造成したゆえ。



住み慣れた家も、新しいまちをつくるために取り壊した。(昭和54年ごろ)
『失われたものの記録 望郷』(男全富雄さん著)より

このまちにいきなり太い道路や公園ができたわけではありません。住んでいる人が土地を出し合う土地区画整理事業という方法で、みんなでまちづくりを行ったのです。道路や公園は、ここに住んでいた人が自分たちの土地の約3割を供出することにより造られました。また、4割弱が日本住宅公団(今の都市基盤整備公団)に売却されたことにより、無秩序な開発が防止され、計画的なまちづくりが実現しました。造成をするためには先祖代々の家を取り壊すことも必要でした。新しいまちができるまでに20年余りかかり、多くの人が住み慣れた土地をいったん離れて暮らしました。



これからどうする?

古くからの歴史と文化にあふれたまち、都筑区。この共通の認識の上に、受け継がれてきた歴史文化と港北ニュータウンで生まれてきた文化活動の双方のよさを住人が共有しあい、新たな歴史と文化を積み重ねていきましょう。そのために行政も必要な情報提供の充実を図り、みなさんの理解が深まるように努めていきます。



昭和40年ごろの
港北ニュータウン地区

当時は稲作や畑作のほか酪農や養蚕が盛んな静かな農村。雑木林では堆肥や椎茸をつくり、生活と自然が共存していた。手入れされた竹林から採れるタケノコは都筑区

名産の一つだった。冬場には天然の氷づくりが行われ、夏まで保存し、横浜中心部まで売りに行っていた。

もっと知るには

- 開発に携わった都市基盤整備公団横浜北部開発事務所 ☎943-7325
URL: <http://www.udc.go.jp/kouhoku>
- 情報誌『港北ニュータウンふれあい』を発行している(財)港北ニュータウン生活対策協会 ☎942-8745

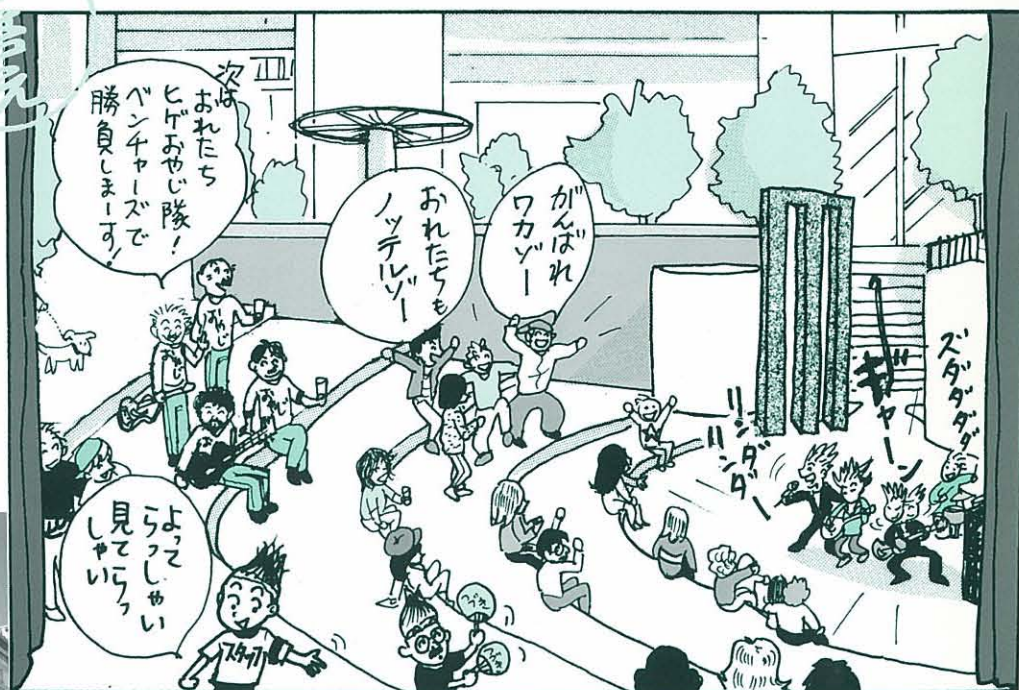
お買い物もハマの文化も、ドーンとおまかせ

大規模な商業施設を中心に人々が集うセンター南駅と北駅周辺。

2つの区間を結ぶ新しい道路も開通し、生活・文化の情報発信拠点としてますます魅力アップ。

センター南駅の「センター」って？

この場合のセンターは、商業施設が集まる場所ということなんです。都筑区の港北ニュータウン内の商業地区は日常生活に便利な近隣センター（荏田や牛久保など6ヶ所設置予定）、日常品プラス家具などの非日常品も買える駅前センター（仲町台駅や中川駅など）、ウィンドウショッピングも楽しめるセンター南・北周辺のタウンセンターの3つの層でできています。中心となっているのがタウンセンターなので、それぞれセンター北・南という名まえになったんですよ。



これからどうする？

港北ニュータウン・タウンセンターは横浜市の副都心のひとつ。公共施設を活用した人が集い憩う空間づくりや足を運びたいようなイベントを創りだし業務・商業・文化など、さまざまな面で副都心としての機能をいっそう充実させていきます。

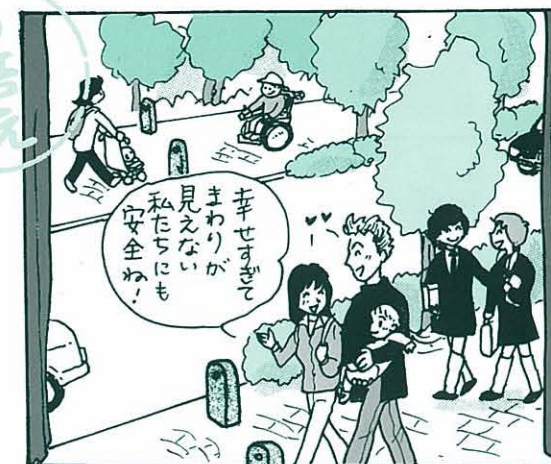
商店街の仲間たち

郊外型ロードサイド店がふえる一方で、古くからの商店街や近隣センターでは伸び悩んでいる地区もあります。でも個人店も負けてはいません。たとえば、高齢者や小さな子どものいる世帯を中心に小回りのきいた配達に力を入れる若主人がいます。荏田南近隣センターでは、地域住民と手を組み季節ごとにイベントを開催するなど、商店会の若手を中心に活発な動きが見られます。

そろそろ車なしの生活もね

都筑区は、元の地形を最大限に生かした造りになっています。そのため坂が多く、つつい車に頼ってしまいがち。とはいえ高齢化社会、地球環境問題など、時代は自動車に頼らなくても、だれもが快適に移動できる道路網を求めています。

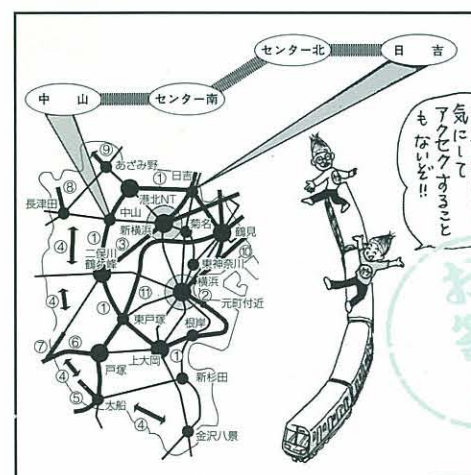
自動二輪車の通行が禁止されている「自転車歩行者専用道路」をダダッと走り抜けるバイク。恐いですね。対策として、車両が侵入しないよう標識を立て車止めを設けています。ただ、車止めの間隔を現状より狭くしたり、柵状に取り替えたりすると、自転車・バギー・車いすを利用される方が通りにくくなってしまいます。難しいですね。現状としてニュータウン内は道路整備がすすみ、歩道と車道が分離されていますが、その他の地域はこれからの取り組みとなります。



歩道を走るバイクが超危険。なんとかしてえ

これからどうなる？

めざすは自動車に乗らなくても、どの家からも「最寄り駅まで15分で到達」する交通体系。そして区の中心部タウンセンターに足を運びやすいこと。中原街道の道幅が広がり、横浜上麻生線（旧道）の歩行者空間の確保など、歩行者や自転車利用者に安全な生活道路の整備を充実させます。またバス路線の新設などを検討していきます。みなさんも自家用車にたよる生活を見直すなどのご協力をお願いします。



地下鉄工事中のうら香板を見たけど!?

それは平成19年の開通をめざしている地下鉄4号線の工事です。4号線は東急東横線の日吉駅とJR横浜線中山駅間の13.1kmを10駅で結び、21分で運行する計画です。都筑は東山田・北山田・

センター北・センター南・葛谷・川和町の6駅。川和町駅とすでにあるセンター北・南駅は地上駅になります。建設費を抑えたり工期を短くするために、今走っている3号線より一回り小さい車両が採用されるほか、トンネルも小さく、東京都営地下鉄大江戸線と同じ規格となります。

これからどうなる？

4号線（中山駅～日吉駅）は将来、鶴見、日吉、中山、二俣川、東戸塚、上大岡を結ぶ横浜環状鉄道の一部になります。これにより、東急、JRへのアクセスが大幅に短縮される、他の市街地との行き来が便利になり都筑区の発展につながる、日吉駅・綱島駅付近の慢性的な交通渋滞の改善などの役割が期待されます。

人にも動物にも やさしい緑道

都筑区の大小の公園をつ
なぐ道が緑道です。
総延長は約15kmで、
驚くなかれ日本最大！

なんで公園を
つないだの？

だれが掃除し
てるの？

いつものように
ゴミを拾って
いるよ



公園・緑道や、江川せせらぎなど水辺の
清掃は町内会を中心に愛護会などがつく
られ、子ども会、PTA、企業も参加した
継続的な活動になっています。また公園
によっては清掃活動ばかりでなく下草刈
りや竹の間伐など里山の保全を目的とし
た活動も活発に行われています。それで
も残念なことにモラルに欠けた行いがあ
とをたちません。みなさんのご協力をお
願います。



これからどうする？

人が手を入れながら守ってきた雑木
林や竹林を守り育てていく区民活動
を支援し、進めていきます。

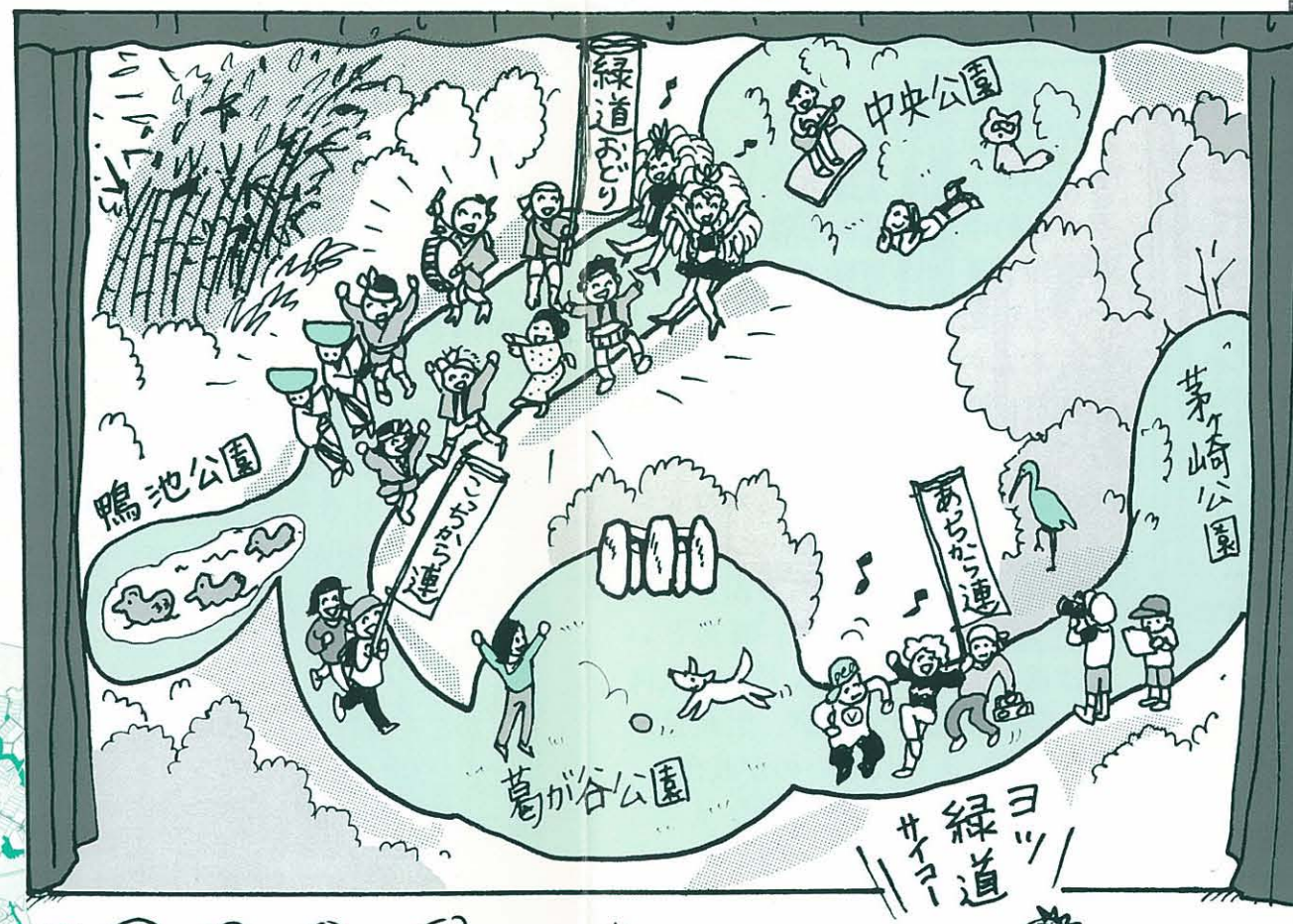
緑の仲間たち

- 各公園では、清掃、緑の維持・管理、自然をテーマにし
たイベントの開催など、子どもからお年寄りまで、幅広
いメンバーによって活動中。一例として
- NPO緑の街 港北ニュータウン緑の会から緑の管理
とまちづくりをになうNPO法人として発足。公園や保
存緑地の保全活動を行っている。☎948-2920
 - 早瀬川ファンクラブ クリーンアップ、流域めぐり

グリーンマトリックス

公園だけでなく、集合住宅地の
緑地、建築物、樹林地、歴史的
遺産などを緑道や歩行者専用道
路とつながりを持たせたシステ
ム。軸となる緑道は地域に5本。緑の幅は10~40mで、中
には100m以上になるところも。昔のままの緑を効果的に活
用するとともに、防災対策にも役立つよう配慮されている。

- などを中心に活動中。福富さん ☎942-3480
●都田江川水辺愛護会 東方町・川向町周辺の住民や
周辺企業による江川せせらぎの創造・保全・管理活動。
建設省主催「手づくり郷土（ふるさと）賞」受賞。
長谷川さん ☎942-5445
区では市民とともに都筑中央公園を管理・活用する団体
の結成をすすめています。



緑道によって公園が結ばれていると、周辺地域が
車と交わらずに緑やせせらぎと触れ合える場所にな
ります。小さな子どもと散策を楽しむ人がいたり、
バードウォッチングに夢中のグループを見かけたり。
動物たちだって、公園から公園へと移動
ができるので行動範囲がグッと広がり、それだけ
棲息しやすくなります。緑道は単に移動するだけの
道ではなく、さまざまな交流や活動が生まれる、
人にも動物にもやさしい空間なんです。



これからどうする？

区民と行政が協力して昔の都筑の風景を現代に
伝える里山の景観を保全し活用していきます。

みどりみち
じゃあしん
ちんちん
ちんちん

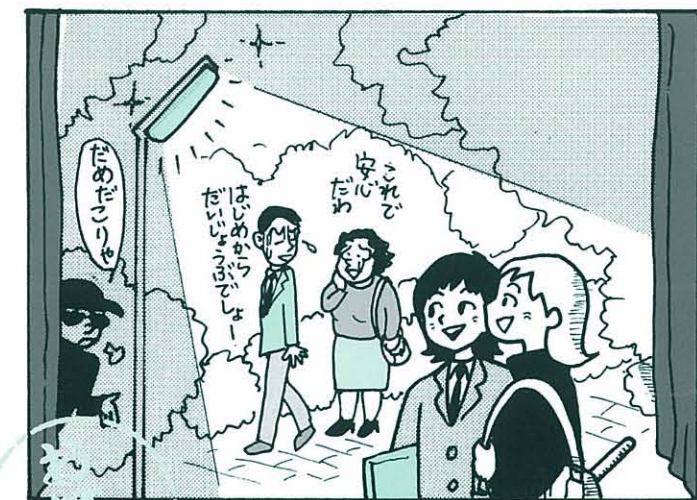


昼間でも薄暗い
ところがあるよ



これが緑道だ！

大小合わせて84カ所の公園と
都市緑地2カ所をつなぐ道。
小広場や尾根道、せせらぎな
ど変化に富んだ構成になって
いる。



「木が茂って緑道は暗い」という区民の意見は以
前からあり、要望に応える形で照明を取り付けたり、
樹木などをきちんと維持・管理したりしてい
ます。どこに照明をつけるか、どのように木を
管理していくのかなど、みんなで考え安心して
すごせる環境づくりを行っていききたいですね。



これからどうする？

だれもが安全、安心して利用できる防犯性の高い空間づ
くりや、すべての人が緑に触れることのできるバリアフ
リーな空間づくりに取り組みます。区民からの声が多い
「バイクが乗り入れて危険」という点についても警察署
や公園の担当と協議、検討し防止対策を進めます。

つくる人食べる人が お隣り同士で いいこといっぱい

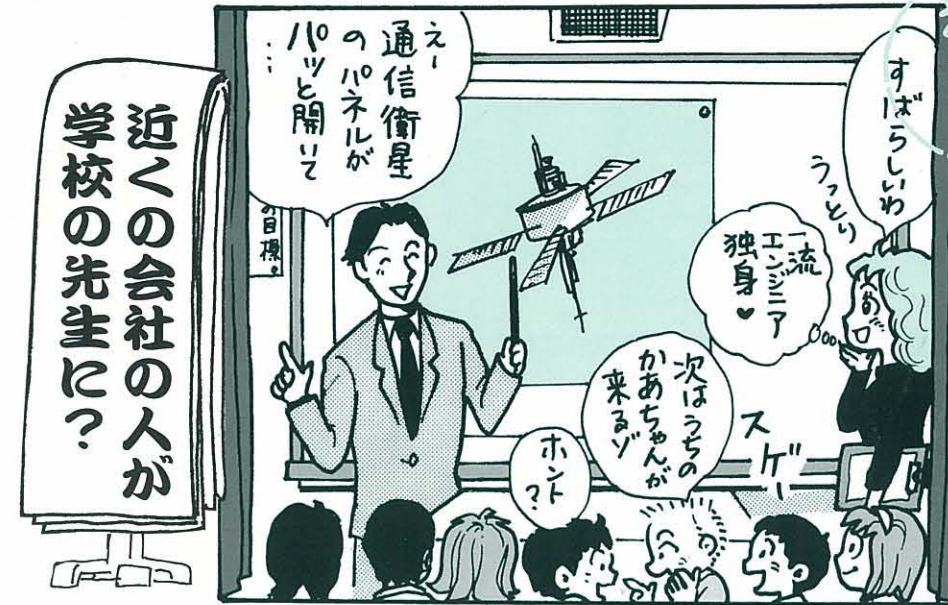


ひがしかた ありもと
東方町や折本町など区の南部には農業専用地区がゆったり広がっています。驚くなかれ都筑区は農家数、農地面積ともに市内の1、2位を争う有数の農業地域なんです。

これぞ人気の野菜直売所。畑やバス停のそば、ピカピカのビルが並ぶまちの中にもあります。地元の農家が採れたての野菜を並べて売っているのです。農家は、新鮮さはもちろんのこと、堆肥を使い、できるだけ農薬はひかえるなどの努力で、「安全、おいしい」にもせと磨きをかけています。ハウレンソウや小松菜は特産の一つ。スーパーなどでは「はま菜ちゃん」ブランドで売られています。特産といえば浜なしも。みずみずしい果肉で人気沸騰なのですが、生産量が少なく手に入りにくいのが残念。

日本の先端技術は 都筑区生まれ！

鶴見川流域は京浜臨海部と並び工業地域。都筑区の製造品出荷額はなんと市内1位です。通信機器の製造が特に盛んで、IT社会を支える最先端技術の多くは都筑区産。ニュータウン内にも研究施設が数多く誘致されています。



都筑区では、これまでも災害時の宿泊施設提供協定や不法投棄監視協定などを企業と連携して実施しています。小中学生のために、企業の専門分野を登録し授業を行う「つづき博士倶楽部」もその一つ。このようなことが可能なのも、区内にある企業には優れた技術・知識を持つエンジニアや研究者などの人材が豊富だからです。

これからどうする？

農業経営環境の変化にも対応できる都市農業への取り組みを進めています。農業従事者の高齢化や後継者問題に悩む農家も多くなっているため、一定の技術を習得した区民による援農の仕組みづくりも進めます。



自然に親しめて収穫もできる菜園は郊外生活の人気者。現在は農協が開設する市民耕作園（自由に作付ができ農家の栽培指導も受けられる）、農家が開設する栽培収穫体験ファーム（農家が栽培から収穫まで指導）などがあり、菜園初心者には農家のアドバイスが受けられると好評です。漬物教室、イモ掘りができる福祉農園など農家との交流イベントも盛ん。近いから家族で気軽に参加できるのがいいみたいです。

これからどうする？

鶴見川沿いの工業地は立地環境の向上をめざします。港北ニュータウンへの研究所などの誘致、周辺環境との調和を図る取り組みも進めます。住居と工場が混在する地区では、工場の騒音や振動、臭気などのトラブルが起きがちですので、混在化を極力抑えていきます。また企業の人材を生かした地域貢献の呼びかけを進めていきます。

これからどうする？

農業体験など農に親しむ場をつくり、農家とみなさんの交流促進に努めます。農地は生産の場だけではなく、農地のある風景は暮らしのオアシスであり、また多くが震災等の非常時の仮設住宅建設に協力する防災協力農地となっています。この貴重な空間を確保するために農家とみなさんのパートナーシップによる農地保全策を検討していきます。

もっと知るには

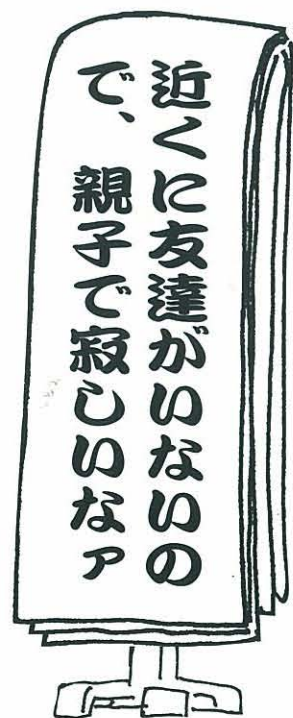
直売所や菜園、交流イベントのことなら
● 横浜市緑政局北部農政事務所
☎ 948-2481
● JA横浜北 ☎ 942-2311

コミュニティで、まち生き生き

都筑には、自治会・町内会を中心とする地域コミュニティ、特定のテーマにしばった活動をするテーマコミュニティ、住民同士がインターネット上で情報交換をするネットコミュニティがある。都筑区では町内会の加入率は7割強と市の平均を下回っているものの、新規の大規模マンションでも町内会が結成されるなど、住民同士のつながりをつくる役割は大きい。緑の保全や子育て、福祉などテーマ性のあるコミュニティは実に

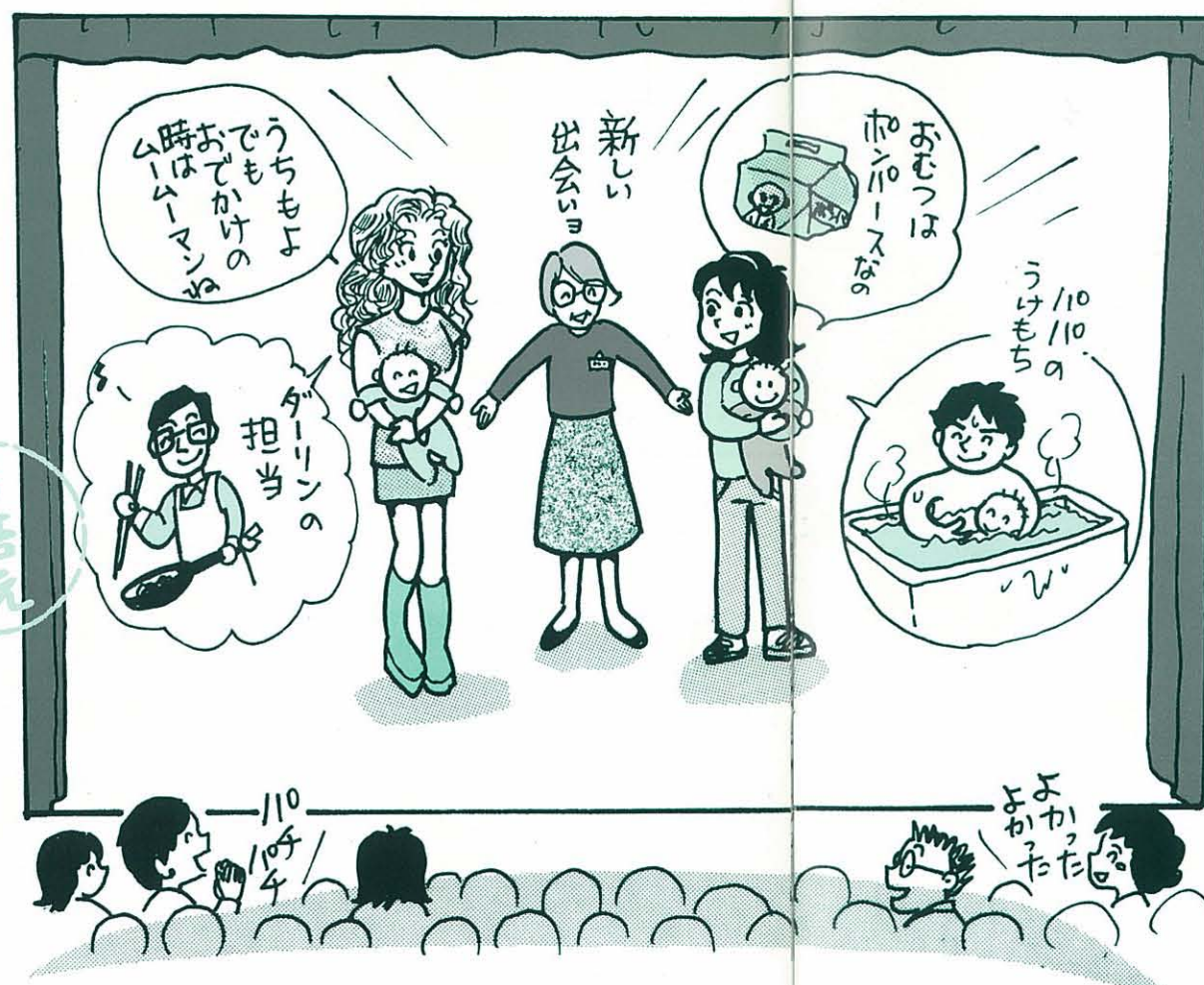
500以上。活動の幅が広がると、これまで行政に委ねられていた事業を住民の力で実施している例も。ネットコミュニティは、居住歴の浅い住民でも地域情報を手に入れやすく、地域とのつながりを持つきっかけになっている。町内会やテーマコミュニティのグループがネットで情報交換、親睦を深める例もあり、ネットコミュニティは、他の2つのコミュニティでも新たなつながりをつくる手段といえる。

都筑 コミュニティ事情



横浜市内で世代がもっとも若い都筑区。ご近所同士のつながりが薄く、一人で子育てに悩んでいる人は少なくありません。でも安心して。お母さんたちの出会いの場があるんです。区役所の生涯学習支援

センターでは、「あたらしい出会い」が毎月第三（木）に。お母さんと子どもたちが気軽に集える場です。この出会いが子育てグループに発展するといいいですね。北山田地区センターや仲町台地区センターでは「子育てが終わって、新米ママのお手伝いをしたい」という地域の先輩ママが子育てに関する相談・アドバイスなどをしてくれます。



コンサートの企画運営やテーマ性のある活動が幅都筑の特色。最近では、ニケーションを深めるネのも登場しています。

公園の愛護会活動などを広げ発展しているのがインターネットでコミュニティなるもの

これからどうなる？
情報弱者と言われる人たちへの配慮をしつつ、情報通信の手段を活用した区民の交流をすすめます。

同居中の母が地域になかなかなじみません



都筑の高齢者のうち約7割が、他の地域から越してきた方です。日中はあまり出かけることもなく、新しい知り合いができないという悩みをかかえる例が多いようです。健康な方なら区役所生涯学習支援センターの

ボランティアバンクを利用しては。得意なこと、経験したことをだれかに広めるための生涯学習ボランティアの登録制度です。新たな活動への一歩を踏み出すきっかけになるかもしれません。地域に4カ所あるケアプラザでは、ボランティアを中心に高齢者や障害者の活動・交流拠点となっています。介護が必要な場合は、通所介護などデイサービスを提供しています。

これからどうする？
だれもが地域の活動に参加し、生きがいを持って暮らせるような環境づくりを進めます。

もっと知りたいなら

- 生涯学習支援センター
何かを始めたい人への情報提供と、すでに活動をしている人へのサポートをしています。グループ活動の登録を行っていますので、仲間をふやしたい、仲間に入りたいという人はぜひご利用ください。
都筑区役所1階 ☎948-2237
- ネットコミュニティ
都筑区のまちづくりからイベント、お店の情報まで、さまざまな話題が飛びかう横浜都筑・港北ニュータウンメーリングリスト入会ページ
<http://www.japanml.net/tsuzuki>
若い母親層を対象とした情報誌「ビタミンママ」のホームページ掲示板では子育てに関する情報交換が活発に行われている。
<http://www.vitaminmama.com/index.html>

これからどうなる？
子どもをもつ女性たちが社会から孤立しない環境づくりをするなど、子どもたちを育てやすい環境をととのえます。

都筑区が誕生して7年。その間約10万人が新しく転入しています。住むばかりでなく、ここで働き、学ぶ人も増えています。ライフスタイルや価値観、都筑とかかわった時間などの異なる人たちが、このまちで気持ちよく生活するには？
いよいよみなさんの知恵とアイデアと行動力の出番です。

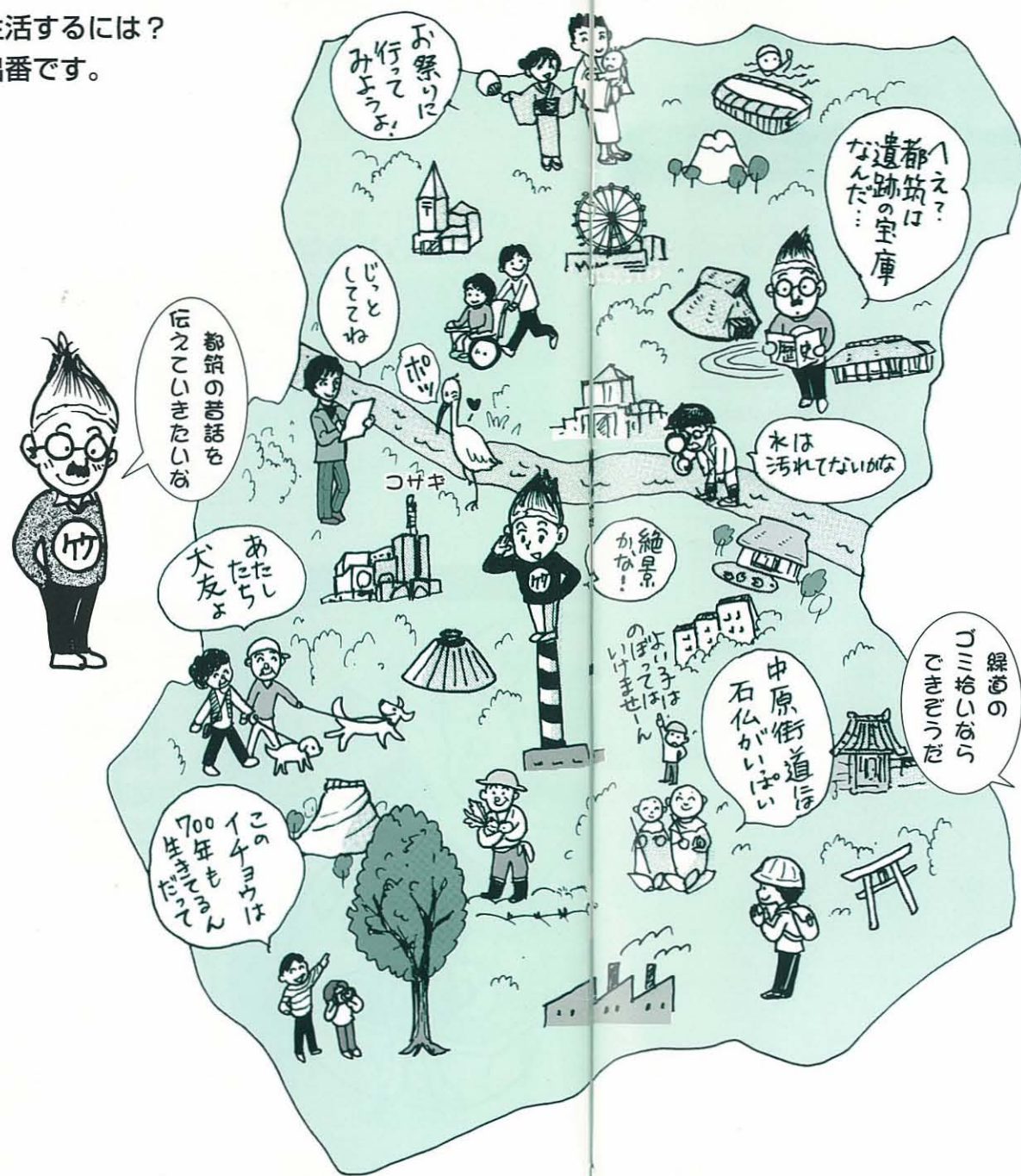
都筑の未来は こんなイメージ！

みなさんの意見を反映して都筑区まちづくりプランがまとめられました。およそ20年後にはこうありたいという都筑区の将来像は

みどりと、こどもと、たいようと ～ともに育くみ、緑都永筑～

“みどり”“こども”“たいよう”は、若く・きらめき・伸び行く都筑の明るいイメージを、“ともに育くみ、緑都永筑”は、都筑区が緑豊かな丘の街の魅力をつまでも持ち続けられるように、みんなで築（筑）きあげていこうという意思をあらわします。今後、この目標の実現をめざしてまちづくりが進められます。まちづくりプランは、社会情勢や意識の変化などに応じて見直していきます。その際は、「まちづくりカフェ」のように区の職員とみなさんが意見交換できる機会を設けたり、インターネットや電子メールなどで参加できる仕組みづくりもあわせて検討していきます。

このまちの どんなところが好き？



私にもできること
があるの？

まちづくりは行政がやるもの？ そんなことはありません。だって都筑のまちは、ここで暮らし、働き、学んでいる人たちみんなのものですから。都筑区にかかわるすべての人が、「こんなまちになったらいいな」という思いを大事にして自分にできることは何かを考え、行動を起こすこと。それこそがまちづくりの第一歩です。まちづくりにはずせないのは暮らしの視点。日ごろの疑問を問い合わせてみたり、「ここってどんなまちだっけ？」と、そんな目で自分の町内から歩いてみるのもオススメです。市民グループや行政が開く催しへの参加や地域でのボランティアを始めてみるのもいいかも。「このまちの好きなところ、自慢できることがいっぱい増えたら、毎日がもっと快適になるよね」とそんなノリで考え行動してみませんか。

これからどうする？

企業や学校などの事業所には専門的な技術や知識を生かした地域貢献が期待されます。行政はみなさんの意見を積極的に反映させながら、まちづくり事業を進めていきます。まちづくりに関する情報の提供、みなさんの主体的な取り組みへの支援なども行っていきます。区民、事業者、行政等がパートナーとして情報を共有し、それぞれの役割を果たしていきましょう。

- 裏表紙の答え
⑥ 川和富士
① 山田富士
⑤ 池辺富士

「準」にさらに建築物の敷地、位置、構造、用途、形態、意匠（デザイン）、建築設備に関する制限を加え、互いに守りあっていることを「約束」とし、その約束を行政の長横浜市の場合は市長が認めたもの。この約束は個人の権利を制限するが、そのかわりに地域の環境保全、魅力ある個性的なまちづくりの実現に役立つ。

地区計画：市町村が地区住民（地権者など）の意向を反映させながら「地区のまちづくりの目標」及び目標実現に必要な道路・公園・広場といった地区施設の配置や規模に関する事項、あるいは建築物の形態・用途・敷地などに関する事項を総合的な計画として定めることができる制度。導入することで、ミニ開発の抑制や中高層建築物と低層建築物の混在などの問題に対処することが可能になる。

土地区画整理：ある区域の土地について計画をたて、道路や公園などのインフラを整備し、それまでの不整形な土地を組み替えて、整然とした宅地を造成し、出来上がった宅地を、はじめの土地の持ち分にに応じて配分（換地）し直すという開発手法。

インフラ：インフラストラクチャー（infrastructure）。生産や生活の基盤を構成する構造物。道路などの産業基盤、学校・病院・公園などの社会福祉・環境施設がこれに該当する。

まちづくり：道路などの都市基盤施設の整備、福祉施設など公共施設の整備、緑や市街地の環境を守るための土地利用の規制・誘導、出来上がった街並みや施設の管理・運営、まちの活力を維持・増進することにつながる活動など、総合的な取り組みをさす。これまでも今後もまちづくりの主役は区民であることが原則。その地に住まう人、働く人、学ぶ人などが地域に愛着をもち、自らが地域の担い手であることを自覚して、はじめて実現される。

まちづくり用語集

市街地：多くの人家や商店が並んでいる地域のこと。

市街化区域：すでに市街地となっている区域、またおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化をすすめる必要のある区域。

市街化調整区域：都市計画法での都市計画区域のなかで、市街化を抑制すべき区域。

都市計画：都市の健全な発展をすすめるため、土地の使い方や建物のたてかた、道路や公園などの都市施設、都市の再開発などについて決める計画のこと。

都市計画マスタープラン：市町村の都市計画に関する基本的な方針をいい、略称都市マス。都市計画は道路、公園、住宅、店舗など、さまざまな要素について、互いの関係がわかるような見取り図があると理解しやすい。将来の都市の姿を示す見取り図のことをマスタープランと呼んでいる。

横浜全市プラン：横浜市長官舎計画「ゆめはま2010プラン」の都市計画に関する内容を具体的に整理し、目標すべき横浜の将来像を明らかにしたもの。ゆめはま2010プラン都筑区計画は区づくりの目標を「都市の快適性 人のぬくもりを実感する新しい生活文化都市」と定めている。

用途地域制度：都市における土地利用の全体像を示すとともに、地域地区それぞれの目的に応じ、建築物や工作物などに一定の制限を行い規制することで、好ましくない土地利用を排除し、都市機能の維持増進と適正な都市環境の保持をすすめる制度。地域地区には、現在、主として低層住宅、中高層住宅による良好な環境を保護する地域や、主として商業、工業の増進するための地域など、12種類の用途地域が用意されている。

建築協定：土地所有者など地権者全員の合意によって建築基準法などの「最低限の基準」にさらに建築物の敷地、位置、構造、用途、形態、意匠（デザイン）、建築設備に関する制限を加え、互いに守りあっていることを「約束」とし、その約束を行政の長横浜市の場合は市長が認めたもの。この約束は個人の権利を制限するが、そのかわりに地域の環境保全、魅力ある個性的なまちづくりの実現に役立つ。

地元あそびのススメ

行ってみよう、ミニ富士登山

名まえを知ってる？

(答えは15ページ)

ミニ富士3兄弟の

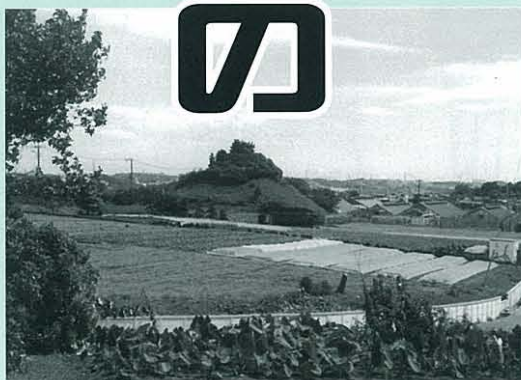
都筑区にある



㊤ 現在のは2代目。富士山、ベイブリッジ、ランドマークタワーが見晴らせる。



㊦ 頂上には噴火口がありお鉢回りまでできる。桜の季節は花祭りでにぎわう。



㊧ 畑のド真ん中での一んびりしている。
鳥居のあるミニ富士。

まちの？が解ける 都筑1コマ劇場

平成14年5月発行

横浜市都筑区役所区政推進課

〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-1

TEL 045-948-2226 FAX 045-948-2239

URL : <http://www.city.yokohama.jp/me/tsuzuki/>

e-mail tzk-plan@city.yokohama.jp

制作 有&長 地域ダス

横浜市広報印刷物登録第130720号 類別・分類B-QA115
この印刷物は再生紙(古紙混入率100%)を使用しています。

親子の頭をよ〜くご覧ください。そうです。2人は都筑で採れたタケノコ。ビビット豊かな感性で都筑のあれこれをズズーいっとご案内しています。知る人ぞ知る都筑はかつてタケノコの名産地。先が黄色くやわらかく、たいそうな人気だったそうです。今では本格的な産地は消えてしまいましたが、竹林の美しさやタケノコ堀りのイベントで楽しませてくれています。



都筑の地を大昔より見つづけてきた
ビビット親子

ビビット竹シ
年齢2万15才

ビビット竹ゾー
年齢2万63才